



森の楽校だより

VOL. 24

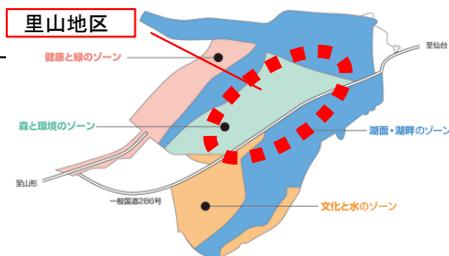


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成26年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、昨年度に引き続き、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

平成24年度は活動の拠点となるツリーハウスづくりを中心にベンチづくりなど活動の場を広げていきます。



2月9日（土）晴れ ツリーハウスの窓取付け、梯子づくり

ツリーハウスに窓を取り付けました。

前回、樹上に設置されたツリーハウスは、柱の歪みなどを補正しながら、サードデッキへの固定を行いました。

また、窓を1箇所取付け、徐々に小屋らしくなってきたツリーハウスを見上げると完成時の姿に期待が膨らみます。



ツリーハウスの活動場所に向かう途中、皆伐更新のため、切り開かれたコナラ林があります。この尾根筋には時よりカモシカが姿を見ることがあります。

梯子づくり

ツリーハウスに上がる最初の部分は、管理面も考慮し、取外し可能な梯子とします。10cm 程の丸太に刻みをいれ、そこに角材を取り付け梯子を作りました。



ベンチづくり

前回、紹介したベンチづくりです。端材や板引きには向かない30cm以下の丸太を有効利用するため、引き続きベンチづくりを進めていきます。



ツリーハウスの窓

これまでに作った窓を実際の取り付け位置に仮止めしました。徐々にツリーハウスの姿が見えてきました。



休憩小屋の棚

以前に一部取り付けした休憩小屋の棚が参加者にたいへん好評だったので、更に棚を追加し、荷物や細かな備品置場としました。



里山のケヤキ

2012.8.4 撮影

2013.2.9 撮影

ツリーハウスの南西側に広がるコナラ林の中にはこの里山では珍しいケヤキがあります。夏の盛りには周囲の木々に囲まれ全体を見ることができませんでしたが、今は冬晴れの空にシルエットが浮び上がって見えます。

